

地域少子化対策重点推進事業実施計画書

都道府県名

長野県

市 町 村 名	高山村		
事 業 名	高山村結婚・子育てライフまるごと応援事業「結婚支援編」	所要見込額	1,630 千円
実 施 期 間	平成29年 6月14日 ~ 平成30年 3月31日		
地域の実情と課題 (これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述)	<p>村では、昨年10月に国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方版人口ビジョンとして「高山村総合戦略」を策定し、村の人口減少対策を総合的に進める施策を定めたとところである。この戦略の4つの基本目標の1つとして「希望する結婚・出産・子育ての支援」を掲げ、統計数値直近5カ年平均の合計特殊出生率1.42を1.63まで、同じく統計数値直近5カ年の年間出生数40人を54人を早期に達成させることとしている。</p> <p>この戦略に基づく施策については、既存の子育て施策などの拡充に加え新規事業を絡ませ、総合的な結婚・子育て事業として主に経済的支援を行うために平成28年度からスタートさせたが、本村では、未婚、晩婚化を要因として及ぼす人口減少が危機的状況にあることから、抜本的な結婚対策策に取り組みることとしている。</p> <p>本村の結婚対策事業については、多様な福祉ニーズに応え、村の特性を踏まえ創意工夫を凝らして事業に取り組むことのできる村の社会福祉協議会が行うことが、より効果が高い事業展開ができるものと判断し、平成21年度から村の社会福祉協議会に委託し、結婚相談事業や見合い設定の登録制度、また他市町村社会福祉協議会と共同した広域的な婚活イベントなどの結婚支援を行うほか、県が設置した「ながの結婚マッチングシステム」を活用し、より結婚対策の効果を上げるべく努めているところである。</p> <p>こうしたなか、村の結婚対策における最大の課題は、結婚適齢年齢を25歳から45歳までと仮定した場合、村内のその未婚者数を概算で調べると、500人以上はいるものと推計されるなかで、社会福祉協議会が行う結婚相談の登録者数は、平成27年度末男女合わせて30人で、うち村内の未婚者は僅かに6人に留まっている。それ以外の未婚者については、他市町村のシステムに登録する村内の数を把握しているほか、民間会社への登録などにより婚活を行う方も想定はされるが、村の大半の未婚男女が婚活を行っていない、将来の村を憂う実感が浮き彫りとなっている。</p>		
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置づけ	<p>村では、「高山村総合戦略」に基づく人口減少対策を強力に進めることとして、中でも結婚・出産・子育てのそれぞれのライフステージに応じた施策を展開し、主に結婚対策を最重要課題と位置づけ、国の平成28年12月27日付け「結婚の希望を叶える環境整備に向けた企業・団体等の取組に関する検討会提言」の趣旨を十分に踏まえ、強力に事業を進めることとしている。</p> <p>新年度の結婚、出産、子育て施策の主な項目</p> <p>(1) 高山村・結婚子育てライフまるごと応援事業「結婚支援編」</p> <p>① <u>マリッジサポーター設置運営事業(社会福祉協議会委託)</u></p> <p>② <u>結婚支援関係者養成連携事業(社会福祉協議会委託)</u></p> <p>③ <u>婚活イベント開催事業(村商工会委託)</u></p> <p>④ その他婚活イベント事業(社会福祉協議会委託)</p> <p>⑤ 結婚定住祝金事業(村単)</p> <p>⑥ 結婚新生活支援補助事業(長野県)</p> <p>⑦ 若者住宅貸付事業</p> <p>⑧ 若者住宅融資利子補給事業</p> <p>(2) 高山村・結婚子育てライフまるごと応援事業「出産支援編」</p> <p>① 不妊治療助成事業(村)</p> <p>② 出産祝金事業(村)</p> <p>(3) 高山村・結婚子育てライフまるごと応援事業「子育て支援編」</p> <p>① 乳幼児期家庭子育て推進事業(村)</p> <p>② 保育料軽減事業(村)</p> <p>③ 児童手当(国、長野県)</p> <p>④ 医療費無料化(国、県、村拡大大)</p> <p>⑤ 小中学校入学祝金事業(村)</p> <p>⑥ 給食費軽減事業(村)</p> <p>村では、このように「希望する結婚・出産・子育ての支援」を総合的に図り人口減少に歯止めをかけることとしているが、その中でも次の結婚支援に重点を置き取り組むこととしている。</p> <p>(1) 高山村・結婚子育てライフまるごと応援事業「結婚支援編」</p> <p>① <u>マリッジサポーター設置運営事業</u></p> <p>② <u>結婚支援関係者養成連携事業</u></p> <p>③ <u>婚活イベント開催事業</u></p> <p>この事業は、幸せな結婚を果たしてこそ初めて次のライフステージに応じた村のきめ細かな支援へと移行していくことができるため、幸せを実感する人生の第2のスタートラインをめざし、関係者が協同してきめ細かな結婚相談等に努め、真に結果へとつながる効果的結婚支援事業を展開することとしている。</p>		
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	<p>結婚相談登録者数 本村人数 H27年度末6人 H29年度末30人、平成31年度末 50人 結婚支援関係者養成連携事業(会議)参加者数 H29年度 19人 平成31年度 27人 (マリッジサポーターをボランティアとして養成し、2年後は8人程度増員する)</p> <p>合計特殊出生率(H20~24年平均) 1.42 → 1.63 (H25~29年)</p> <p>年間出生数(H22~26年平均) 40人 → 54人(H27~31年)</p>		
参 考 指 標	<p>※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等</p> <p>人口 村人口の推移(国勢調査人口)</p> <p>平成2年 7,342人 平成7年 7,776人(ピーク) 平成22年 7,563人 平成27年 7,374人</p> <p>人口 総合戦略による事業を行わなかった場合 平成40年度 5,869人</p> <p>人口 総合戦略による事業を行った場合 " 6,381人 512人の減少の歯止め ※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等</p>		

事業内容	1 優良事例の横展開支援		所要見込額	1,630 千円
	(1) 結婚に対する取組		所要見込額	1,630 千円
	個別事業名	高山村結婚・子育てライフまるごと応援事業「結婚支援編」	所要見込額	1,630 千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	2 結婚新生活支援		所要見込額	千円
上記「事業内容」の「1」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無	「有」とした場合の事業名		

(注)

- 1 「地域の実情と課題」には、これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載する。
- 2 「市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置づけ」には、地域の実情及び課題を踏まえた、市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置づけを記載する。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。
- 3 「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、市町村の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載する。また、各市町村は少なくとも平成29年度終了時点及び平成31年度終了時点に、各自治体において効果検証を実施し、都道府県にその結果を報告すること。
- 4 「参考指標」には、各市町村の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告する。
- 5 「上記「事業内容」の「1」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。(「無」が前提となります)
- 6 適宜参考となる資料を添付すること。